

| | | | |
|-------------|--|------------|-----|
| 科目名 | 総合日本語6－8A Integrated Japanese6－8A | | |
| 担当者 | 保坂 明香 (Hosaka, Asuka) , 清水 澤子 (Shimizu, Sawako) | | |
| 開講学期 | 春学期 | 単位数 | 1単位 |

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,聴く・話す活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,内容理解とともにディスカッションやプレゼンテーションのしかたを身につけることを目指す。

その他(HPなど)

授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. 聴く・話す技術①-1 導入と資料理解
3. 聴く・話す技術①-2 実践とフィードバック
4. 聴く・話す技術②-1 導入と資料理解
5. 聴く・話す技術②-2 実践とフィードバック
6. 聴く・話す技術③-1 導入と資料理解
7. 聴く・話す技術③-2 実践とフィードバック
8. 聴く・話す技術④-1 導入と資料理解
9. 聴く・話す技術④-2 実践とフィードバック
10. 最終発表の準備① テーマの検討
11. 最終発表の準備② 構成の検討
12. 最終発表の準備③ レジюме・PPTの検討
13. 最終発表と振り返り①
14. 最終発表と振り返り②

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 40%,授業内課題の提出状況および内容 45%, 最終発表 15%,

テキスト

特に指定しない。

| | | | |
|-------------|--|------------|------|
| 科目名 | 総合日本語6－8B Integrated Japanese6－8B | | |
| 担当者 | 金庭 久美子 (Kaneniwa, Kumiko) , 酒井 彩 (Sakai, Aya) , 嶋原 耕一 (Shimahara, Koichi) | | |
| 開講学期 | 春学期 | 単位数 | 1 単位 |

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,読む・書く活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,読解力を高めるとともに,レポートや論文を書く際に必要な技能を身につけることを目指す。

その他(HPなど)

授業計画

1. 授業概要,大学に必要な日本語力とは
2. テーマ①-1 導入と共通資料の読解活動
3. テーマ①-2 分担読解とディスカッション
4. テーマ①-3 振り返りと書く技術の導入
5. テーマ①-4 ピア・エディティング活動
6. テーマ②-1 導入と共通資料の読解活動
7. テーマ②-2 分担読解とディスカッション
8. テーマ②-3 振り返りと書く技術の導入
9. テーマ②-4 ピア・エディティング活動
10. テーマ③-1 導入と共通資料の読解活動
11. テーマ③-2 分担読解とディスカッション
12. テーマ③-3 振り返りと書く技術の導入
13. テーマ③-4 ピア・エディティング活動
14. レポートの提出とまとめ・振り返り

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 40%, 授業内課題の提出状況および内容45%, 小レポート最終版 15%,

テキスト

特に指定しない。

| | | | |
|-------------|---|------------|------|
| 科目名 | 総合日本語 6－8 C Integrated Japanese 6－8C | | |
| 担当者 | 長谷川 孝子 (Hasegawa, Takako) , 清水 澤子 (Shimizu, Sawako) | | |
| 開講学期 | 秋学期 | 単位数 | 1 単位 |

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

テキスト

特に指定しない。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,聴く・話す活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,内容理解とともにディスカッションやプレゼンテーションのしかたを身につけることを目指す。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

その他(HPなど)

授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. 聴く・話す技術①-1 導入と資料理解
3. 聴く・話す技術①-2 実践とフィードバック
4. 聴く・話す技術②-1 導入と資料理解
5. 聴く・話す技術②-2 実践とフィードバック
6. 聴く・話す技術③-1 導入と資料理解
7. 聴く・話す技術③-2 実践とフィードバック
8. 聴く・話す技術④-1 導入と資料理解
9. 聴く・話す技術④-2 実践とフィードバック
10. 最終発表の準備① テーマの検討
11. 最終発表の準備② 構成の検討
12. 最終発表の準備③ レジюме・PPTの検討
13. 最終発表と振り返り①
14. 最終発表と振り返り②

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 40%, 授業内課題の提出状況および内容 45%, 最終発表 15%,

| | | | |
|-------------|---|------------|------|
| 科目名 | 総合日本語 6－8 D Integrated Japanese 6－8D | | |
| 担当者 | 保坂 明香 (Hosaka, Asuka) , 酒井 彩 (Sakai, Aya) | | |
| 開講学期 | 秋学期 | 単位数 | 1 単位 |

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

テキスト

特に指定しない。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,読む・書く活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,読解力を高めるとともに,レポートや論文を書く際に必要な技能を身につけることを目指す。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

その他(HPなど)

授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. テーマ①-1 導入と共通資料の読解活動
3. テーマ①-2 分担読解とディスカッション
4. テーマ①-3 振り返りと書く技術の導入
5. テーマ①-4 ピア・エディティング活動
6. テーマ②-1 導入と共通資料の読解活動
7. テーマ②-2 分担読解とディスカッション
8. テーマ②-3 振り返りと書く技術の導入
9. テーマ②-4 ピア・エディティング活動
10. テーマ③-1 導入と共通資料の読解活動
11. テーマ③-2 分担読解とディスカッション
12. テーマ③-3 振り返りと書く技術の導入
13. テーマ③-4 ピア・エディティング活動
14. レポートの提出とまとめ・振り返り

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 40%, 授業内課題の提出状況および内容 45%, 小レポート最終版 15%,